



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. B 2. C 3. A 4. D 5. B 6. C 7. A 8. D

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

🌸 = flowers 🍞 = bread 🗳️ = vote 🏭 = factory 🌷 = tulip 🕊️ = peace 💜 = purple 🍫 = chocolate

Unscramble

1. EQUAL 2. RIGHTS 3. MIMOSA 4. FACTORY 5. BRAVE 6. CELEBRATE

Fill in the blanks

(1) March (2) shop (3) yellow (4) mimosa (5) Grandma (6) factory (7) marches (8) pay (9) smiles (10) story

Sentence order

1. Women in Petrograd asked for bread and peace.
2. Clara Zetkin had a big idea in 1910.
3. People in Italy give yellow mimosa flowers.
4. Many women in China get half a day off.
5. Everyone should be treated fairly at work.

Secret Code

BREAD AND PEACE (パンと平和を)

Maze — Secret word

EQUAL

解説 (Reading Check)

1. B 最後の段落で「感謝を伝える日」と「平等について問う日」の2つの顔があるとまとめています。イタリアで始まったわけではなく、すべての国の祝日でもありません。
2. C 第1段落に They shouted for "bread and peace." とあります。花やチョコレートは今のロシアの習慣の話で、1917年の要求ではありません。
3. A 第2段落に、1910年にクララ・ツェトキンが提案したとあります。ニューヨークの女性たちは1909年に自分たちの「女性の日」を開きましたが、世界共通の日を提案したのはツェトキンです。
4. D 第3段落の最初の文にあります。1909年はニューヨークだけの「女性の日」、1917年はペトログラードの行進、1975年は国連が祝い始めた年です。
5. B fairly は「公平に」。ほかの人と差をつけられず、同じように扱われることです。お金や休み、花は「公平」とは別のものです。
6. C 第4段落に In China, many women get half a day off work. とあります。イタリアはミモザ、国連は1975年、ロシアの女性が投票権を得たのは1917年です。
7. A 最後の段落で、多くの人が「まだ平等ではない」と答える、だから行進が続く、と述べています。直接の理由は書かれていないので、前の文から推論します。
8. D ジュリアが Mimosa was cheap, and it blooms in March. と述べています。スマイルはきれいではないのではなく、高かったのが理由です。



Translations

和訳・全訳

Class _____ No. _____ Name _____

和訳（問題文）

- T/F 1. 国際女性デーは3月8日です。
- T/F 2. クララ・ツェトキンはイタリア出身でした。（正しくはドイツ）
- T/F 3. 最初の国際女性デーは1911年でした。
- T/F 4. イタリアではこの日に赤いバラを贈ります。（正しくは黄色いミモザ）
- T/F 5. ペトログラードの女性たちはパンと平和を求めました。
- T/F 6. 国際女性デーは日本の祝日です。（正しくは祝日ではない）
- Unscramble 1. EQUAL＝平等な
- Unscramble 2. RIGHTS＝権利
- Unscramble 3. MIMOSA＝ミモザ
- Unscramble 4. FACTORY＝工場
- Unscramble 5. BRAVE＝勇気のある
- Unscramble 6. CELEBRATE＝祝う
- Order 1. ペトログラードの女性たちはパンと平和を求めました。
- Order 2. クララ・ツェトキンは1910年に大きなアイデアを思いつきました。
- Order 3. イタリアの人々は黄色いミモザの花を贈ります。
- Order 4. 中国では多くの女性が半日休めます。
- Order 5. 誰もが職場で公平に扱われるべきです。
- ... has given flowers to a woman＝女性に花を贈ったことがある
- ... knows the name of a woman scientist＝女性の科学者の名前を知っている
- ... likes yellow flowers＝黄色い花が好き
- ... has been to Italy or Russia＝イタリアかロシアに行ったことがある
- ... knows what year Japanese women first voted＝日本の女性が初めて投票した年を知っている
- ... can say thank you in three languages＝3つの言語で「ありがとう」と言える
- ... has a mother or grandmother who worked outside the home＝母か祖母が家の外で働いていた
- ... likes chocolate cake＝チョコレートケーキが好き
- A woman I respect is _____ because _____.＝私が尊敬する女性は_____です。なぜなら_____だからです。
- If I could give flowers to one woman, I would give them to _____.＝1人の女性に花を贈れるなら、私は_____に贈ります。
- One thing I want to change for a more equal world is _____.＝もっと平等な世界のために変えたいことの1つは_____です。

全訳（Reading）

1 1917年3月8日、ロシアのペトログラードで、女性たちが工場を出て、寒い通りへと歩き出しました。彼女たちは疲れていて、おなかをすかせていました。彼女たちは「パンと平和を」と叫びました。さらに多くの労働者が加わりました。およそ1週間後、ロシアの皇帝は権力を失いました。その年のうちに、ロシアの女性は選挙で投票する権利を勝ち取りました。

2 でも、「女性の日」という考えは、それより少し前からありました。1909年2月28日、ニューヨークの女性たちが「女性の日」を開きました。そして1910年、クララ・ツェトキンというドイツの女性が、大きなアイデアを思いつきました。デンマークでの会議で、彼女は「すべての国で、同じ女性の日を開こう」と言いました。17か国から来た100人以上の女性が賛成しました。

3 最初の国際女性デーは、1911年3月19日でした。ヨーロッパの4か国で、100万人を超える人が集会に参加しました。人々は、投票する権利、働く権利、そして公平に扱われることを求めました。のちに、ペトログラードの勇気ある女性たちを記念して、3月8日が選ばれました。1975年には、国連もこの日を祝うようになりました。

4 今日、この日の様子は世界中でさまざまです。ロシアでは休日で、男性が身近な女性たちのために花を買います。イタリアでは、ミモザという小さな黄色い花を贈ります。中国では、多くの女性が半日、仕事を休めます。スペインでは、何百万もの人が、同じ給料を求めて通りを行進してきました。

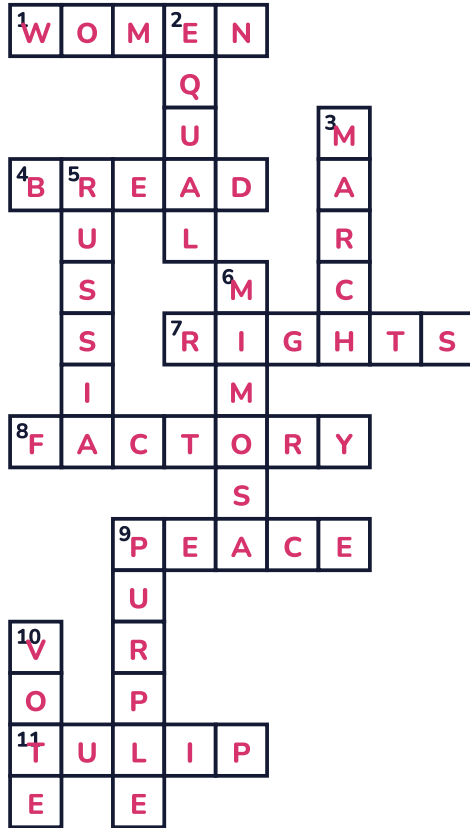
5 つまり、国際女性デーには2つの顔があります。女性に「ありがとう」と言う日。そして、むずかしい問いを投げかける日でもあります。女性と男性は、もう本当に平等になったのでしょうか？多くの人が「まだだ」と答えます。だから人々は今も、毎年3月8日に行進するのです。



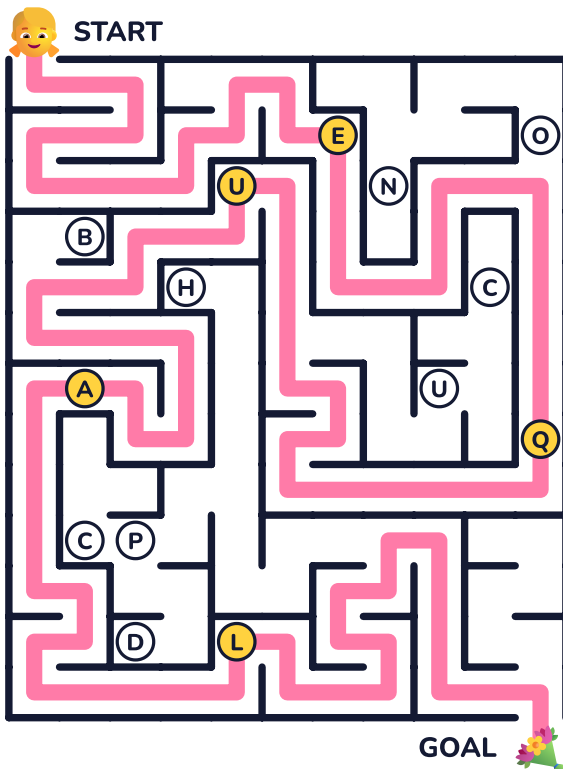
解答 (パズル)

Class _____ **No.** _____ **Name** _____

Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1 : Comprehension

1. A 第1段落で「感謝の日」と「政治の日」の2つの顔を示し、最後の文 Perhaps the best answer is to keep both faces of the day: gratitude and pressure for change. で両方を残そうとまとめています。2は一面だけ、3は証拠がないとされた話、4は本文と逆（118位）です。
2. D 第2段落 the story appears to have first been printed in a French newspaper in 1955 が根拠です。1は Historians found no evidence of that march とあるので誤り。2と3は本文に書かれていません。
3. B 第3段落 women worldwide hold only 64 percent of the legal rights that men have が根拠です。1は本文と逆、3と4は日本の順位（148か国中118位）の数字を取りちがえた選択肢です。
4. C 第2段落 it gave the day an American origin, distant from its Soviet image during the Cold War から、ソ連のイメージから離すのに役立ったと推測できます。1は証拠がないとされた話、2と4は本文に根拠がありません。
5. D compliment は「ほめ言葉」。批判する人は、花やチョコで「たたかいの日」が「礼儀正しいほめ言葉の日」に変わったと言っています。1「不満」、3「怒りの要求」は逆の意味で、2は文脈に合いません。
6. A 最後の文 keep both faces of the day: gratitude and pressure for change で、感謝と変化を求める動きの両方を残そうと提案しています。2と4はどちらか一方だけにする選択肢、3は本文に根拠がありません。

発展セット C2 : Vocabulary

1-e (organize=組織する、企画する) 2-f (demand=要求する) 3-g (critic=批判する人、批評家) 4-h (struggle=たたかい、苦闘) 5-a (compliment=ほめ言葉) 6-b (evidence=証拠) 7-c (origin=起源、由来) 8-d (gratitude=感謝の気持ち)

Paraphrase (例)

1. But at first, it was a political day. Socialist women planned it because they wanted the right to vote and better conditions at work.
2. There is no proof that the march happened, and the story seems to have appeared first in a French newspaper in 1955.
3. Maybe we should use the day both to thank women and to push for change.

Summary (例)

In places like Russia, March 8 feels like a day to thank women with flowers, but it began as a political day for women's rights. Its history was also rewritten with an unproven 1857 story. Since big gaps remain, the writer suggests keeping both gratitude and pressure for change.

Advanced Reading 全訳

1 ロシアの多くの人にとって、3月8日は2回目の母の日のように感じられます。男性は花市場に並び、職場では女性社員のために小さなパーティーが開かれます。けれどもこの日は、選挙権とよりよい労働条件を求めた社会主義の女性たちが組織した、政治的な行事として生まれました。批判する人たちは、花やチョコレートが、闘いの日をていねいなほめ言葉の日に変えてしまったと主張します。

2 この日の歴史さえ、書きかえられてきました。何十年ものあいだ、本には、この日が1857年のニューヨークの縫製労働者の行進を記念したものだと書かれていました。歴史家たちはその行進の証拠を見つけられず、この話は1955年にフランスの新聞に初めて載ったようです。一部の研究者は、この話が冷戦のさなか、この日にソ連のイメージから離れたアメリカ起源の物語を与えたのではないかと考えています。

3 この議論が大切なのは、問題がまったく解決していないからです。国連によると、世界の女性は男性が持つ法的権利の64パーセントしか持っていません。2025年のジェンダーギャップの報告書で148か国中118位だった日本では、この問いは特に鋭いものです。おそらく最善の答えは、この日の2つの顔、つまり感謝と変化を求める圧力の両方を持ち続けることでしょう。